

第6回地域包括ケア応援セミナー ～関東信越厚生局主催～

高崎市

生活支援体制整備事業の取り組み

～みんなで支え合うまちづくり～



2017年7月13日（木）

高崎市第1層生活支援コーディネーター

目崎 智恵子

本日の説明内容

1. 高崎市の概要
2. 地域支援事業の実施状況
3. 生活支援体制整備事業の取り組み
4. 生活支援体制整備事業の推進体制
5. 第2層協議体発足に向けた取り組み
6. 制度の普及・啓発
7. 第1層協議体づくりに向けて
8. 高崎市協議体活動のポイント



1. 高崎市の概要

人口	374,491人
高齢化率	26.8%
要介護者等認定率	16.2%

小学校：58校 人口・高齢化率
中学校：25校 要介護認定率 H29.3.31



平成37年

・総人口：361,170人
・高齢化率：29.8%
⇒ 約3.4人に1人が高齢者

・認知症の罹患者数
5人に1人が認知症



2. 地域支援事業の実施状況

新しい介護予防・日常生活支援総合事業

(要支援1~2、それ以外の者)

- 介護予防・生活支援サービス事業
 - ・訪問型サービス
 - ・通所型サービス
 - ・生活支援サービス(配食等)
 - ・介護予防支援事業(ケアマネジメント)

- 一般介護予防事業

包括的支援事業

- 地域包括支援センターの運営
(左記に加え、**地域ケア会議の充実**)
- **在宅医療・介護連携の推進**
- **認知症施策の推進**
(認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員等)
- **生活支援サービスの体制整備**
(コーディネーターの配置,協議体の設置等)

任意事業

- 介護給付費適正化事業
- 家族介護支援事業
- その他の事業

多様な主体によるサービス創出
支え合いの地域づくり



地域支援事業

H27年 4月 現行の訪問介護相当・
通所介護相当から実施
10月 特定生活支援サービス
介護予防サポーター活動体制強化

H27年 4月 介護予防教室(運動、認知症)
訪問指導事業

H27年 4月 基幹型直営1箇所+地域型委託26箇所
地域ケア個別会議・地域別課題検討会議

H27年 4月 医療介護連携相談センター設置

H26年 9月 認知症初期集中支援チーム設置
H27年 4月 認知症地域支援推進員配置26人配置

H27年 9月 勉強会開始
H27年10月 さわやか福祉財団と協定締結

※高崎市長寿社会課資料より



3. 生活支援体制整備事業の取り組み～実情と課題～

人口 約37万人

1市+6町村が合併してできた高崎市
7地域には、それぞれ異なる実情

環境、社会資源（民間企業、NPO団体、
社会福祉協議会、地縁組織、商工団体、
社会福祉法人、ボランティア団体、
自治会、老人クラブ等）、
住民同士のつながり、考え方、思い…など



必要とされる支援、助け合い活動もそれぞれ

取り組み



課題

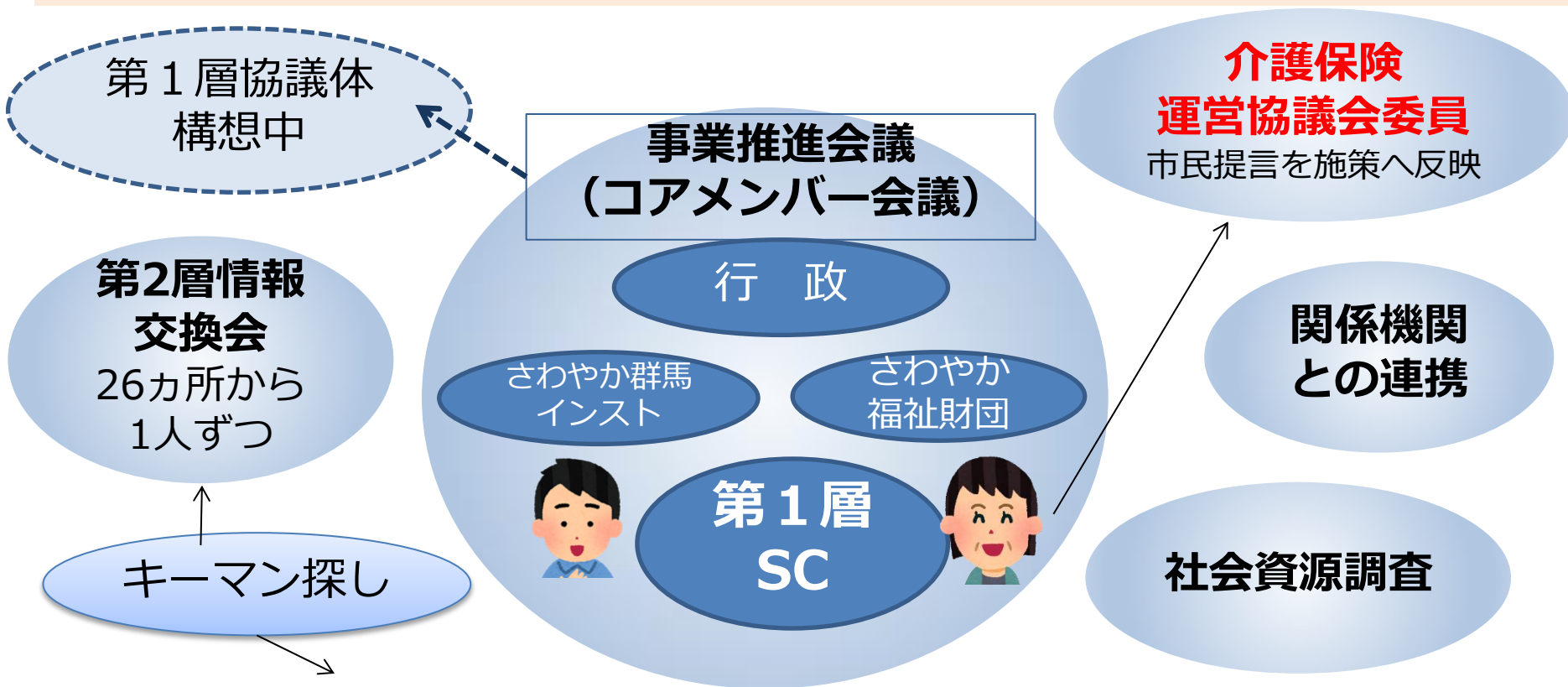
1. 体制整備により生み出す
“地域の人材と社会資源の掘り起こし”
2. 地域・市民の提言を施策へ

どこの地域に、
どんな活動をしている
人がいるのだろうか…？

まずは第2層から

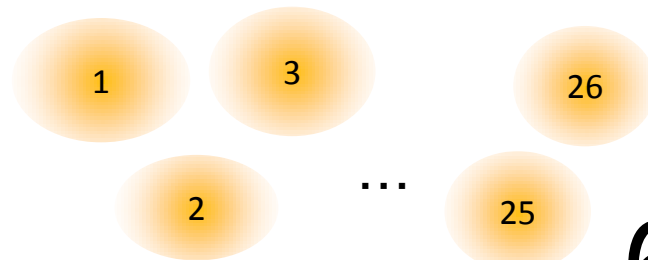
※高崎市長寿社会課資料より

4. 生活支援体制整備事業の推進体制 (第1層SCの活動)



第2層協議体支援(26箇所)

第2層協議体発足のサポート
勉強会開催・当日のサポート・事前打ち合わせ
地区勉強会への参加・アドバイス
勉強会、フォーラムでの先行地区の紹介
協議体への情報提供等



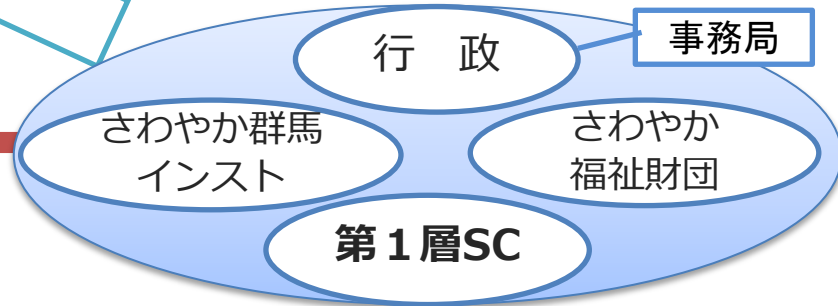
4. 生活支援体制整備事業の推進体制（全体像）

第1層協議体 (H30年度設置検討中)

- ☆事業推進
(第1層あり方検討・情報収集等)
- ☆第2層協議体設置・情報共有
- ☆担い手養成企画・実施 等

構想中

事業推進会議 (コアメンバー会議)



第2層協議体 (26カ所)

H27年度・H28年度 取組み開始地区 (20カ所)

群馬 (なののはな)	八幡	乗附	南八幡	中居・矢中
群馬 (さくら)	新町	城東・東部	佐野	北・西・東
榛名	倉淵	新高尾・中川	倉賀野	岩鼻
片岡	高松	京ヶ島・滝川	浜尻・塚沢	大類 (仮協議体)

H29年度 取組み開始地区 (6カ所)

豊岡	長野
寺尾・城山	箕郷
六郷・北部	吉井

5. 第2層協議体発足に向けた取り組み

協議体の設置（26協議体）

- ・市民向けフォーラムを開催
- ・サービス支援の担い手の養成

高齢者あんしんセンター担当圏域を単位
平成27年度6箇所を開始

地域づくりや住民による自発的な活動への
支援等に実績のある複数人を
生活支援コーディネーター候補として選任

生活支援コーディネーター候補を
中心に、協議体構成団体へ働きかけ

平成28年度 高齢者あんしんセンター
単位14箇所協議体づくりを開始

現在20地区のうち20地区が協議体
暮らしやすい地域に向けて協議中！

平成29年度 6ヶ所取り組み開始

(1) 各地区の取組開始状況

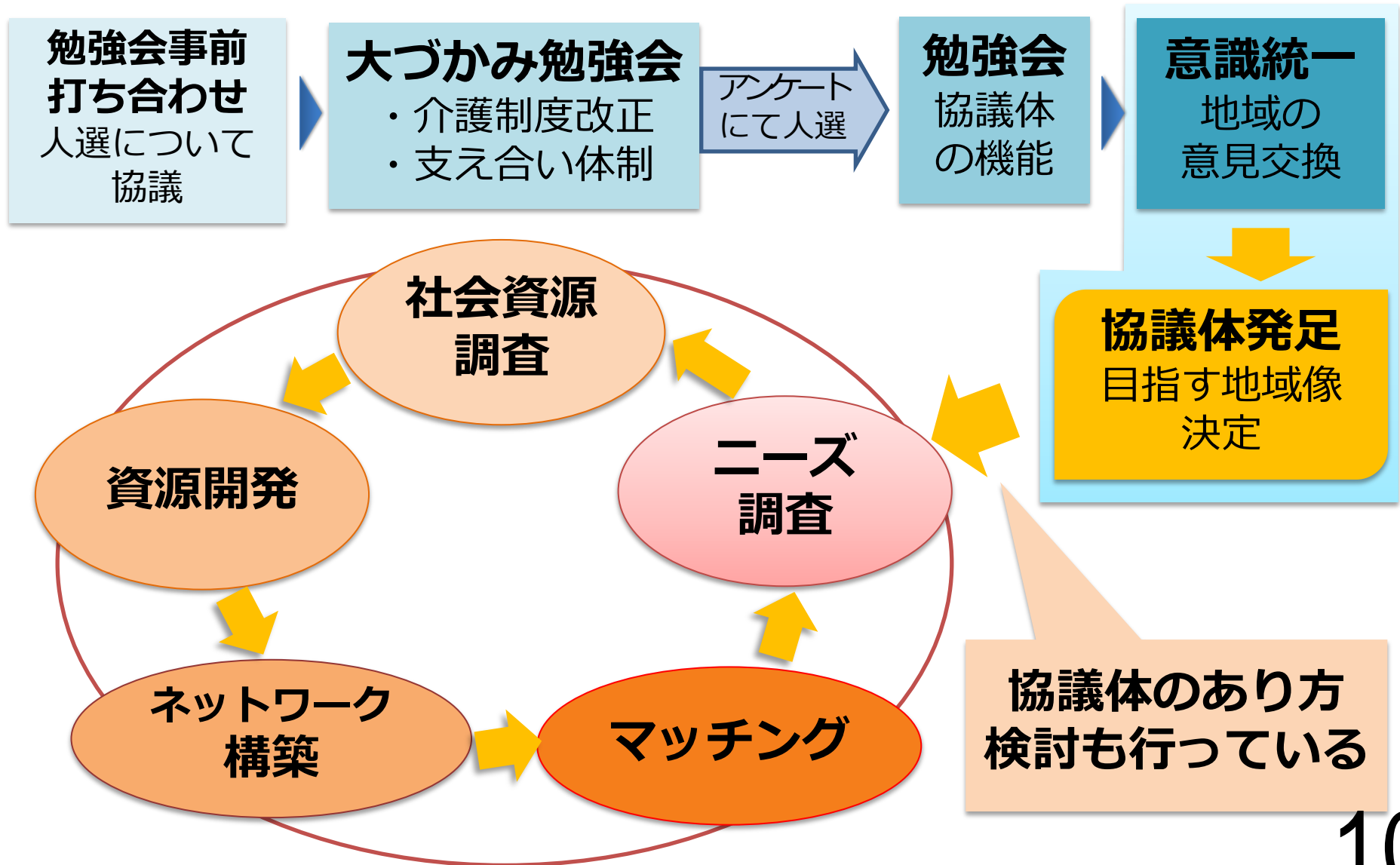
平成27年度 6カ所で開始⇒すべて協議体を設置 (6協議体/26地区)
平成28年度 14カ所で開始⇒平成29年3月末日迄に14カ所協議体設置
(20協議体/26地区)
平成29年度 4月より6箇所で開催開始



各地区、平均約50名参加

この取組みに「積極的に参加したい」・「誰かがやるなら協力したい」と答えた参加者は平均6割以上

(2) 協議体ができるまでのプロセス



① 勉強会事前打ち合わせ

推進役メンバー： あんしんセンター（委託包括）、社協、行政、第1層S C



- 活動内容**： 各自関係者に声掛け
（ボランティア・区長・民生委員・活動団体等）
- ⇒ 呼びかけチラシの作成・配布
 - ⇒ 関心のある方・意識のある方を中心に参加募る
 - ⇒ 会の流れについて事前打ち合わせを実施

② 大づかみ勉強会

大づかみ 勉強会

- ・介護保険制度改正
- ・支え合い体制

地域のキーマンを探す (大づかみ方式)

鳥の目!



地域づくりに関心のある方
地域で活動している方等に
声掛け役 (推進役)



地域勉強会開催

* あんしんセンターとは・・・委託包括

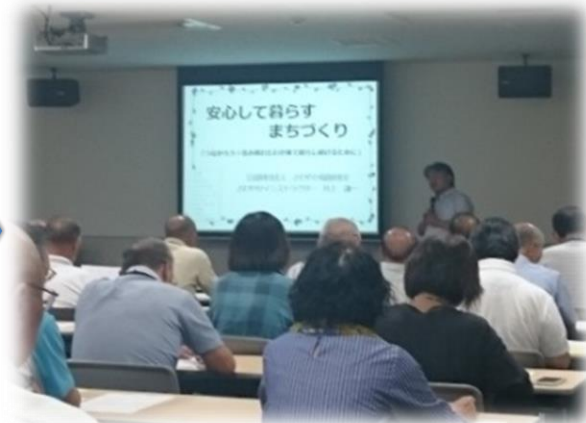
② 大づかみ勉強会（勉強会当日の流れ）

1、開会



社協orあんしんセンター

2、制度説明



さわやか福祉財団

3、先行地区の紹介



第1層SC

6、アンケート記入

- 1、今日の勉強会に参加してどうでしたか？
- 2、今日の話聞いて活動してみたいと思いましたか？
- 3、目指す地域像や感想がありましたら記入して下さい。

5、推進役の紹介



あんしんセンター/社協/行政

4、質疑応答



さわやか福祉財団

③ 第2回以降の勉強会

推進役が中心となり、前回の振り返りから、協議体の役割と目的、地域の状況についてのワークショップ、情報共有、意見交換を中心に行っています。



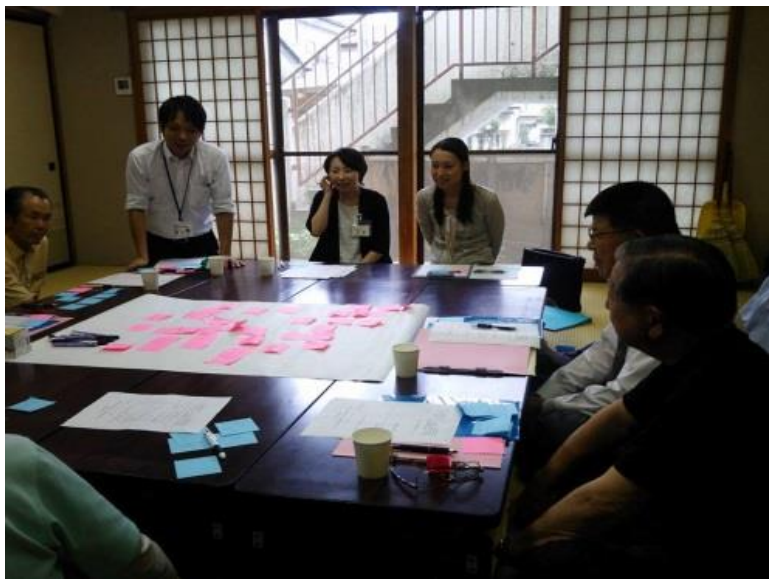
③ 第2回以降の勉強会 (ワークショップ) ①



数回勉強会実施



③ 第2回以降の勉強会（ワークショップ）②



④ 協議体発足（意識統一）

協議体発足

- ・ 目指す地域像の決定

協議体としてまちづくりを推進



住民 + 多様な主体

協議体



社会福祉協議会



あんしんセンター

一員として参加



高崎市長寿社会課

バックアップ
政策決定の役割

④ 協議体の発足 第2層協議体「目指す地域像」 地区別

■ 群馬地区（さくら）



「多世代の交流があり
～多世代の世話人がつどい
隣近所をたすけあう地域～」

■ 八幡地区



動ける人がお互いに見守る
交流のあるまち

■ 群馬地区（なのはな）



地域で支え合うまち
～気軽につかず はなれず
おせっかい～

■ 新町地区



あったらいいな！が実現できる町
～私たちの力で～

④ 協議体の発足 第2層協議体「目指す地域像」 地区別

■ 榛名地区



ほっとかないよ！ 笑顔広がる榛名の地
～気にかけて 声かけ 支え合う～

■ 城東・東部地区



で愛、ふれ愛、ささえ愛
～つながろう住みなれた町で～

■ 倉淵地区



あんじゃあねえ！
自然と共に 担い手志願

■ 岩鼻地区



あいさつで笑顔広がる町づくり

⑤ 高崎市の協議体会議（支え合いの仕組みづくり）

住民が主体となって、地域課題や社会資源を整理し、あんしんセンター（委託包括）、社会福祉協議会、行政と一緒に支え合いの仕組みづくり及び地域課題解決に向けた検討、資源開発を行っています。

高崎市長寿社会課

あんしんセンター

社会福祉
協議会

車に乗れず
移動ができなくて
困っている人
どうしよう。

地域の集まりの場
があったらいいね。

地域の商店が
なくなって
近所で買い物
できる店が
ないな。

高齢者世帯が
多くなってきて
いるなあ。

(4) 第2層協議体の具体的な活動 ～八幡地区～

① 八幡地区 第2層協議体会議 概要

協議体発足：2016年1月

構成メンバー：元区長、区長、民生委員、公民館長（八幡クラブが中心）
高齢者あんしんセンター、社協、行政



項目	内容	備考
1. 高齢者あんしんセンター	高齢者あんしんセンター	高齢者あんしんセンター
2. 八幡クラブ	八幡クラブ	八幡クラブ
3. 民生委員	民生委員	民生委員
4. 公民館長	公民館長	公民館長
5. 元区長	元区長	元区長
6. 区長	区長	区長
7. 社協	社協	社協
8. 行政	行政	行政

人口：16,546人 高齢化率：27.5%
※2016年5月20日時点

「動ける人がお互いに見守る交流のあるまち」

【ニーズ】居場所・支え合いの体制づくり（第3層協議体づくり）

【周知】協議体発足チラシを全戸配布

【社会資源の把握】資源調査、資源マップ作成見える化、

【資源開発】移動販売導入、サポーター活動開始

【ネットワーク】介護保険事業所勉強会

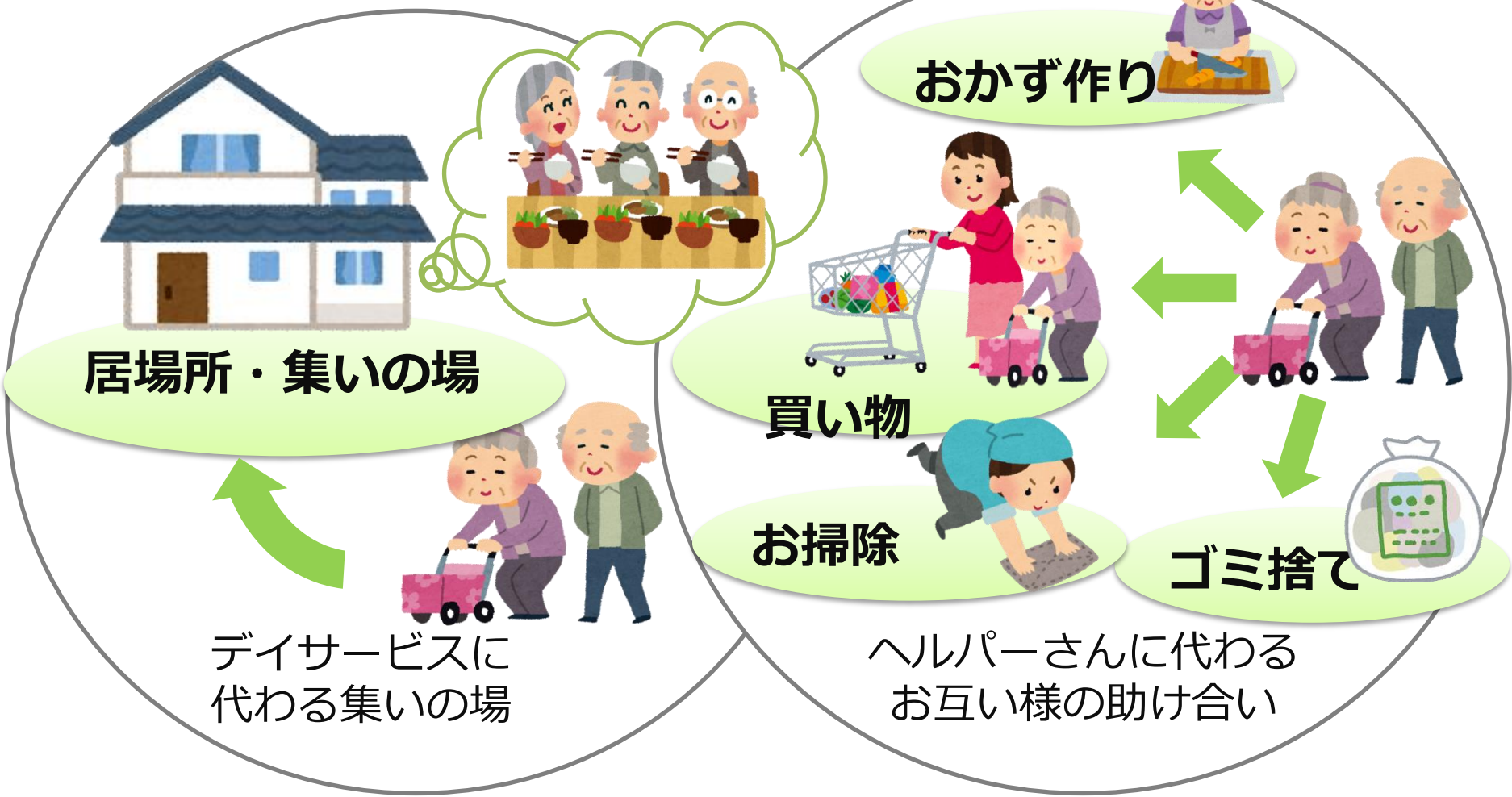
【担い手養成】支え合いサポーター養成講座等



協議体会議の様子



例えば…



元気なうちからお互い様で助け合う関係をつくる

② 第2層協議体担い手養成 ～八幡地区～

2017年1月30日 参加者65名・ 2017年6月17日 参加者45名
担い手養成講座開催（共催：八幡地区協議体・高崎市）

高崎市八幡地区 地域支え合いサポーター養成研修会のご案内

八幡地区では、支え合いを中心とした住みやすい地域づくりのために、「協議体」が立ち上がり話し合いを行っています。この協議体に参加し、地域づくりについて考え活動する人や、高齢者の生活の困りごとを助けるために活動する人を「地域支え合いサポーター」と呼びます。

今回、八幡地区協議体と高崎市の共催により、下記のとおり、地域支え合いサポーターを養成するための研修会を開催することになりました。

「地域のために何かしたい！」という思いをお持ちの皆様、ぜひ研修会に参加して、地域支え合いサポーターとして一緒に活動しませんか？

開催日時

平成29年1月30日（月）
午後1時30分～3時30分

会場

八幡公民館 2階 ホール

内容

- ・地域支え合いサポーターとは
- ・活動の心構えや留意点について



※この研修を受講して市に名簿登録すると「地域支え合いサポーター」となります。

主催：八幡地区協議体
共催：高崎市長寿社会課

地域支え合い サポーター - HANDBOOK -



高崎市

③ 第2層協議体担い手養成講座の様子 ～八幡地区～

第1回目 参加者65名
協議体メンバー紹介



共催：高崎市・八幡協議体

④ 地域支え合いサポーターとは

高崎市に登録し、以下のどちらかの（両方でも可）活動を行う方々が地域支え合いサポーターです。

地域づくりを考える人

【どんなことをするか】

勉強会や協議体へ参加し、地域づくりについて考え活動する人。

【どうすればなれるか】

特別な研修は必要なく、生活支援体制整備事業の趣旨に賛同し、市に名簿登録すればサポーターになれる。

【その他】

継続的・積極的に地域づくりに参加するサポーターは、**協議体のメンバー**となる。



サービスの担い手

【どんなことをするか】

協議体で決定して創出されたサービス等の担い手として、実際にサービスを提供する。

【どうすればなれるか】

所定の研修を修了し、市に名簿登録すればサポーターになれる。

【その他】

研修は必要に応じて市が開催する予定。



⑤ 地域支え合いサポーターの活動

気にかける



地域づくりを考える

協議体



自分が「できること」「したいこと」を
地域で活かす

生活支援などを行う



協議体の活動に協力する



(5) 第2層協議体の具体的な活動 ～新町地区～

① 新町地区（合併地区） 第2層協議体会議 概要

協議体発足：2016年4月

構成メンバー：区長、民生委員、ボランティア団体、商工会議所、
社会福祉法人、高齢者あんしんセンター、社協、行政



人口：12,196人 高齢化率：28.4%
※ 2016年5月20日時点

「あったらいいな！が実現できる町 ～私たちの力で～」

【ニーズ】 ①買い物難民 ②自由に利用できる集いの場

【調査】 買い物についてのアンケート 集いの場に関するアンケート作成中

【社会資源の把握】 社会資源の見える化－マッピング

【周知】 回覧にて協議体活動の周知 【ネットワーク】 商工会と連携

(6) 第2層協議体 情報交換会

内容：各協議体の進捗状況報告、情報交換、課題の共有、担い手等



八幡地区



なのはな
(群馬地区)



さくら
(群馬地区)



新町地区
2016年10月18日

6. 制度の普及・啓発

(1) 一般市民向けフォーラム開催

みんなでつなごう！支え合いの輪！～地域支え合い推進フォーラム IN 高崎～

- 平成28年2月21日(日) 開催 280名参加
- 基調講演「目指すべき地域像 より広く、より深い助け合いを」
さわやか福祉財団 会長 堀田 力 氏
- パネルディスカッション
「語ろう、まちづくり。つなごう、支え合いの輪。」
高崎市地域支え合いサポーター



開催日時 2016年2月21日(日)
13:30～16:30(開場:13:00)

会場 高崎市総合福祉センター
たまごホール(定員250名)
住所:高崎市末広町115-1

プログラム

- 挨拶 高崎市長 高岡 賢治
- 基調講演
「目指すべき地域像 より広く、より深い助け合いを」
さわやか福祉財団 会長 堀田 力
- ディスカッション
「語ろう、まちづくり。つなごう、支え合いの輪。」
高崎市地域支え合い推進サポーター
丸茂 ひろみ
認定NPO法人ハートフル 高橋 大吾
認定NPO法人じゃんぽん 目崎 智恵子
さわやか福祉財団 会長 堀田 力

参加費無料！申込みは裏面を見てね！

主催：高崎市、公益財団法人さわやか福祉財団
協力：高崎市地域支え合い推進サポーター

【お問い合わせ】
高崎市長寿社会課 (TEL:027-321-1319)
さわやか福祉財団 (TEL:03-5470-7751)

参加者の声(アンケートより)

支え合い、一歩踏み出すことの必要性を痛感。もやもやしていたものが形になって見えてきたように感じた。地域で助け合っていくことは大事。近くに居場所があると気軽に踏み出していける。自分にできることで地域に関わっていきたい。

(2) 区長・民生委員勉強会の開催

高齢者が地域で安心して暮らし続けるためのまちづくり～区長民生委員とともに～

○講演「目指す地域像の実現に向けた取り組み」

さわやか福祉財団 長瀬 純治 氏

開催日	対象	参加者	対象地区
2016年7月12日（火）	区長141名、民生委員165名	150名	合併地区
2016年8月9日（火）	区長389名、民生委員536名	420名	旧高崎市

○パネルディスカッション 「各地区の取り組み紹介」



7. 第1層協議体発足に向けて

第2層情報交換会

- 日時：2017年5月18日
- 目的：各協議体活動状況、ネットワークづくり、情報共有等
- 参加協議体：7協議体／20協議体
(住民+あんしんセンター+行政)



進行役は第1層S C



行政から取り組み状況説明



13協議体は
あんしんセンター1名参加

7. 高崎市の第2層協議体活動のポイント

社会参加

みなさんが元気で居続ける事

できること探し

住民ができることから始める

担い手を増やす

支え合いの仲間を増やす今ある活動を応援

情報共有

お互いの活動を知りあい繋げる

仕組みづくり

5年後10年後も支え合える仕組みを考える

進め方

進行役と事務局

求めるもの

支え合いを実現させる



**ご清聴頂き
ありがとうございました**

